

# 結城市立結城西小学校（学校長 阿久井 照子）

実施日	平成20年1月31日（木）	時間	午前10時40分～午後1時
実施場所	教室	対象/人数	4学年68名、5学年58名
担当教諭	押野 順一	ファシリテーター	海原 三枝
講師	タバッシュクー・ベヘルズ（イラン） 田中 アルバ（ニカラグア）		

## 活動内容

イランの紹介（文化・歴史・習慣）、あいさつなどの言葉  
ニカラグアの紹介、あいさつなど簡単な言葉、文化・習慣  
民族衣装の試着体験・民族舞踊の体験、ニカラグアのゲーム  
会食

## 児童の感想

・田中アルバ先生とタバッシュクー・ベヘルズ先生が結城西小学校に来てくれました。アルバ先生は、ニカラグアについていろいろなことを私たちに教えてくれました。その中でも、特にスーパーボールを使ったニカラグアの遊びやニカラグアの衣しょうを着ておどったダンスがとても楽しかったです。このワールドキャラバンを通してわたしはニカラグアがどんなところかもっと知りたくなりました。

・タバッシュクー・ベヘルズ先生は、ワールドキャラバンの交流会でイランのことをたくさん教えてくれました。その中で特におどろいたことはイランは日本の約4.4倍の広さなのに人口は半分しかないこととイランには世界一の宝石があるということです。イランのことを聞いて、もっとイランのことを知りたいなあと思いました。

## 先生の感想

・短い時間でしたが、先生方と交流することができてとても楽しい時間を過ごすことができました。先生方の国の食べ物や国の位置・人口を聞いたときに、日本と比較してくださったのでとても分かりやすく児童はとても興味を示していました。また、先生の国のゲームや踊りを実際に教えていただき、とても喜んでいました。給食の時間も一緒に過ごし、外国の文化にたくさんふれることができました。もっと時間があればよいと思いました。

## 成果と課題

・本校でのワールドキャラバンは、昨年度に引き続き2回目となりました。昨年度は、初めての経験でこの事業の計画や打ち合わせをしても不安が

ありましたが、実際に行ってみると感動し、やってよかったと思いました。今年度も2人の講師の方から出身国の様子を直接お聞きすることができて、それぞれの国への興味・関心がさらに高まりました。また、文化や生活習慣の違いも知ることができました。

・反省点としては、2点あります。一つはコーディネーターとの活動の内容をを具体的に計画しておくこと、もう一つは活動内容に見合った講師をお願いすることです。

・今後もいろいろな国の方と交流を行い、国際理解を深めていきたいと思えます。国際理解教育推進協議会の皆様、講師の方に感謝いたします。

